

ニュース

第六十八回グローバル化
社会の教育研究会開催

二月五日、六十八回目となる「グローバル化社会の教育研究会」が森上教育研究所(東京都千代田区)で開かれ、教育関係者を中心に約三十人の参加があった。「二〇二〇年度からの大学入試改革の行方―中学・高校・大学における英語教育の何が変わろうとしているのか」をテーマに、大妻女子大学・同大学院教授で、早稲田大学講師セント・ジョゼフ大学客員教授、英語教育研究所長でもある服部孝彦氏が話題提供を行った。

服部氏は日米の教育を受けた元帰国生。文部科学省のSGH企画評価会議メンバー、国連英検統括監修官、JSAE-IELTSアカデミック・スーパーバイザーを務めるなど、いろいろな教育現場で改革に携わっている。

服部氏はまず、受験は情報戦であり、その情報が出た意味を考えると必要があると述べ、大学入試改革が行われる背景の一つに、これから必要とされる力が「考える力」

に移行してきている点を挙げた。

二〇二〇年度から行われる大学入学共通テストは、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的に、知識・技能を有しているかの評価も行いつつ、思考力・判断力・表現力を中心に評価するものと説明。各教科・科目の特質に応じ、さまざまな知識を複合的に組み合わせさせて正解を導き出す問題に変わり、具体的には「国語と数学に記述式問題の導入」「英語の四技能(聞く)」「話す」「読む」「書く」を評価するための外部検定試験の活用「マークシート式問題をより思考力・判断力・表現力を評価できるように見直し」等が実施されると解説した。

さらに外部検定試験の特徴のほか、各教科の問題例、諸大学の入試への取り組み例等も示したうえで、今後の英語教育には英語力のみならず、数学や社会などほかの教科・科目とも連携させた深い学びを行うことが大切だと述べた。

服部氏のユーモアある講演に会場は盛り上がり、「生徒に英語を習得させるために大切なことは」「帰国生が国内の大学を目指す場合の得策はあるか」等の質問が終了時刻まで絶え間なく出された。

海外子女の作品が入賞―第
二十二回図書館を使った調
べる学習コンクール
(図書館振興財団)

同コンクールは、図書館利用の促進と調べる学習の推進のために行われている。

募集は「調べる学習部門」「調べる学習英語部門」「調べる学習指導・支援部門」で行われ、それぞれ十萬七六九九点、七点、二点、総数十萬七七八作品の応募があった。そのうち、入賞に三十三作品・三団体、優良賞に一五四作品、奨励賞に二七六作品、佳作に一九四作品が選ばれた。

海外からの受賞者は次の通り。

◆優秀賞・海外子女教育振興財団賞

シカゴ補習授業校

中一 船本唯

中二 板井玲菜

チェンナイ補習授業校

小四 田原孝一朗

◆優良賞

シカゴ補習授業校

小六 内藤陽菜

中一 柳原コール

中三 金網麻衣

高三 滝沢陸

◆奨励賞

シカゴ補習授業校

小六 示森翔真

関野大遙

丸山海渡

中一 ジェスキー恵都

中二 岸本結希

高二 藤巻日菜子

◆佳作

ジョホール日本人学校

小二 松本文瑠

シカゴ補習授業校

小六 中山蒼大

山本塔子

中一 武藤奏

中二 百崎野乃子

中三 藤巻音羽

高二 富山琴絵

*詳細は図書館振興財団のホームページに掲載されている。
<https://www.toshokan.or.jp>

海外子女の作品が入賞―
JICA国際協力中学生・
高校生エッセイコンテスト
2018(青年海外協力協会)

同コンテストは、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会のなかで日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきか

を考えることを目的として実施されている。

今回で二十三回目となる中学生の部には三万七七四八点、五十七回目となる高校生部には三万四七三八点、総数七万二四八六六の応募があった。

海外からの受賞者および受賞校は次の通り。

◆中学生の部・特別学校賞

- 大連日本人学校
- ナイロビ日本人学校
- パリ日本人学校
- バルセロナ日本人学校
- リマ日本人学校

同・学校賞

- アブダビ日本人学校
- シカゴ日本人学校
- 蘇州日本人学校
- ハノイ日本人学校
- ブラッセル日本人学校
- マニラ日本人学校
- ムンバイ日本人学校
- ローマ日本人学校
- ◆高校生の部・国際協力特別賞
- 早稲田渋谷シンガポール校
- 同・佳作
- 早稲田渋谷シンガポール校
- 同・学校賞
- 高三 入口望花

早稲田渋谷シンガポール校

*詳細はJICA地球ひろばのホームページに掲載されている。

<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/>

海外子女の作品が入賞—
第六十四回青少年読書感想
文全国コンクール(全国学校
図書館協議会・毎日新聞社)

同コンクールは以下の趣旨で行われている。

○子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、素晴らしさを体験させ、読書の習慣化をはかる。

○より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。さらに、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

二万五五四校の小学校・中学校・高等学校等から四一四万六九四二編の応募があり、うち八十二校二八二七編が海外の日本人学校等からのものだった。

海外からの受賞者は次の通り。

◆サントリー奨励賞

- バトルクリーク補習授業校
- 小五 大熊航平

中三 大熊蒼平

*同コンクールのホームページに詳細が掲載されている。

<http://www.dokusyokansoubun.jp>

海外子女の作品が入賞—
第十回日本語大賞(日本語
検定委員会)

同大賞は、日本語の美しさやことばの持つ力を見つめ直すことを趣旨に創設された。自分の思い、感情、思考などを、読む人に伝えるために、ことばを駆使し、表現を工夫することで、自分という「人間」を知り、さらに他人との関係性、社会と自分のかかわりを知ることにつながっていくことを目的としている。

今回は応募総数四二二二作品のうち小学生の部には二八四三、中学生の部には四六六、高校生の部には七〇〇のエッセイ・作文が集まり、海外からのものは四九三点だった。

海外に住む子どもへの受賞は次の通り。

◆優秀賞

- シアトル補習授業校
- 小四 崎門大晃
- グアム日本人学校

中一 権田あい子

ダービー補習授業校

高一 青木宙

◆佳作

シアトル補習授業校

小四 山下将瑚

ブラッセル日本人学校

中一 笠原清珠

*日本語検定委員会のホームページに詳細が掲載されている。

<https://www.nihongokentei.jp/grandprize/>



第46回全国研究大会開催(全海研)

全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会(全海研)は2019年度の全国大会を次のように開催する。

開催日 8月22〜24日

会場 旭川トヨホテル・旭川

藤星高等学校(北海道旭川市)

テーマ 「世界と子どもをひらき、

つなぎ、つむぐ教育をめざして

—ネットワークでつむぐ、明日の教育—」

おもな内容

○講話・講演

○特定課題分科会

○公開授業(幼・小・中・高)

○研究発表全体会

○授業別分科会

○実践事例発表

○情報交換会

後援 外務省、文部科学省、海外

子女教育振興財団等

*詳細はホームページで案内予定

URL <http://www.zenkaiken.jp>

**2019年度春の実践研究発表会
概要のお知らせ(愛知教育大学附
属名古屋小学校)**

開催日 5月28日

会場 愛知教育大学附属名古屋小

学校(愛知県名古屋小

内容

○公開授業Ⅰ・Ⅱ(よりよい授

業を目指して、当校が行って

いる授業を公開)

○意見交換会(公開した授業内

容をもとに参観者と意見交換)

○共同研究者ミニ講義(共同研

究者である愛知教育大学の先

生による講義)

*詳細は4月下旬に当校のホーム

ページにて案内される予定。

URL <http://www.nip.aichi-edu.ac.jp>

新規ご入会 維持会員(1月末現在)

・白鵬女子高等学校

会員を募集(全海研)

全国海外子女教育・国際理解教育
研究協議会(全海研)では、会員を
随時募集しています。

「全海研」は在外教育施設(日本人
学校等)派遣経験者で結成した唯一
の全国組織です。

各都道府県組織と連携して以下の
実践・研究に取り組んでいます。希
望者は、どなたでも入会できます。

おもな活動

婦国子女教育の実践的課題の解決、
国際理解教育と総合的な学習の単元
開発と実践事例集の作成、国際理解
教育ワークショップの開催、外国人
子女教育(日本語教育を含む)の実
践的課題の解決とネットワーク化、

子どもたちのための日本語フォーラ
ムの開催、補習校支援カリキュラム
作成(文部科学省からの委託)、海
外子女教育支援ガイドブック作成な
ど。

また次のような活動を通して海外
派遣教員への応募を考慮しているか
たの心強い相談相手となっています。

在外教育施設派遣登録者および内

定者研修の企画・運営・協力、講習・

研修に必要なテキストの作成、日本
人学校や補習授業校における教育実
践の支援および教材開発やカリキュ
ラム化、シニア派遣希望者推薦指定
団体として派遣期間終了後に国内で
活躍されてきた人々のなかでシニア
派遣を希望するかたを文部科学省に
推薦するなど。

推薦するなど。

【国内会員】4000円(1年間)

【在外会員】1万円(派遣期間中、
ただし3年未満で帰国した場合は3
年間適用)

ただし3年未満で帰国した場合は3
年間適用)

会員の特典

①会報が送付されます。

②研究紀要が送付されます。

③実践、研究の成果を全国大会や地
方ブロック大会、研究紀要、実践
事例集で発表できます。

④海外・婦国子女教育、国際理解教
育、外国人子女教育、日本語教育、
補習授業校教育に関するさまざま
な情報が提供されます。

⑤会報やニューズレターで最新の学
会・研究会の情報が提供されます。

⑥研究事業、研修事業のプロジェクト
に参加できます。

⑦シニア派遣希望者を推薦します
(希望者はお申し出ください)。

入会申し込み方法

【国内から】

郵便局の郵便振込取扱票に、氏
名・住所・電話番号を記入のうえ、
左記宛てに年会費を振り込む(振込
通知書が入会申込書となります)。
郵便口座

全国海外子女教育・国際理解教育研
究協議会
0011019126969

【海外から】

全海研宛てのEメールに、氏名・
在外派遣地を明記のうえ申し込む。
会費の納入は、日本国内から送付で
きるかたは右記郵便口座へ。また、
国内から送金できないかたは在内地
の金融機関から左記へ。

三菱UFJ銀行葛西支店

普通口座4884720

口座名「全海研(ゼンカイケン)」

問い合わせ先

全海研事務局

TEL 03-5696-3358

FAX 03-3804-7432

E-mail info1@zenkaiken.jp

URL <http://www.zenkaiken.jp>